

次世代へつなぐ



天空の不夜城の先頭で田楽を頭に乗せて歩く淳城西小の皆さん



天空の不夜城勉強会の様子

学校で天空の不夜城を学ぶ

淳城西小学校では、ふるさと教育の一環として、天空の不夜城勉強会を毎年開いています。ふるさと教育とは、「心の教育」の充実・発展を目指し、平成5年度から学校教育実践課題として推進されているもので、ふるさとのよさの発見、ふるさとへの愛着心の醸成、ふるさとに生きる意欲の喚起をねらいとして学校で取り入れられています。

6月26日に行われた勉強会では、天空の不夜城協議会の職員を講師として、6年生が天空の不夜城の歴史や、製作当時の様子などについて学びました。

また、田楽製作も行い、児童一人ひとりが将来の夢などを描いた田楽を作り、天空の不夜城開催当日に田楽を頭に寄せ、愛季、嘉六などとともに練り歩きます。

淳城西小学校のほかに、能代第一中学校の「一中若」、能代第二中学校の「二中若」、能代科学技術高校の生徒をはじめとした市内高校生も天空の不夜城に参加しています。

楽しさを実感して

天空の不夜城は、誰でも参加できる祭りです。これまで県外や外国の方が参加したこともあります。私自身、天空の不夜城と能代役七夕に参加していますが、参加してみないと分からない楽しさがあると思います。

また、見る人にも楽しんでもらえるように、飽きられない工夫をしていく必要があると感じています。参加する人も、見る人も「来てよかった!」と思ってもらえるような祭りを続けていきたいです。

ふるさとの祭りや文化、魅力をこれからつないでいくのは子どもたちです。その子どもたちが祭りや文化について学ぶ機会をどんどん増やして欲しいと思います。



能代七夕「天空の不夜城」協議会 小嶋将さん

何年光もずっと・・・

能代市を盛り上げたい気持ちから始まった能代七夕「天空の不夜城」は今年で10回目の運行を迎えます。参加者の確保や灯籠の経年劣化への対応などの課題があるなかで、天空の不夜城を「続けていきたい」「守っていきたい」「つないでいきたい」――携わる人々の思いが詰まった能代七夕「天空の不夜城」は今年も能代の夏を彩ります。

能代七夕「天空の不夜城」は8月2日(金)、3日(土)に開催されます。詳細は次ページをご確認ください。